

2024年11月1日

株式会社ロイヤリティ マーケティング

中華電信とロイヤリティ マーケティングが提携
台湾の決済サービス「Hami Pay」のアプリで、
Ponta ポイントをためてつかえるインバウンドサービス開始

共通ポイントサービス「Ponta（ポインタ）」を運営する株式会社ロイヤリティ マーケティング（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：長谷川 剛、以下「LM」）は、11月1日（金）、台湾最大の電気通信事業会社である CHT-Chunghwa Telecom Co., Ltd.（中華電信股份有限公司、以下「中華電信」）と提携し、台湾からの訪日客に向けたインバウンドサービスを開始します。



中華電信が提供する「Hami ポイント」は、台湾で 1500 万人以上の会員を有し、国内外で 500 ブランド以上が加盟しています。電子マネーの「Hami Pay」アプリは 200 万ダウンロードを突破しています。このたびの提携により、台湾からの訪日客向けインバウンドサービスとして、Hami Pay ユーザーが日本国内で Ponta ポイントをためて、つかえるようになるサービスを開始します。また、対象の Ponta 提携社で利用できるクーポンを Hami Pay アプリの Ponta 会員証画面で配信します。

Hami Pay ユーザーは、日本国内で Hami Pay アプリで Ponta 会員証を提示すると、Ponta ポイントをためてつかえるようになります。日本でためた Ponta ポイントがつかえるだけでなく、台湾でためた「Hami ポイント」を Ponta ポイントに交換して利用できます。また Ponta ポイントが余った場合は、Hami ポイントに交換することができます。

LM はこれまで、台湾、ベトナムからの訪日観光客向けに、インバウンドサービスを展開しています。このたびのサービス拡充を機に、Ponta 提携社への集客をさらに図ってまいります。

LM は、「Ponta」の「便利・おトク・楽しい」世界が、いつでもどこでも広がる生活密着型サービスを提供しています。

提携インバウンドサービス 概要

- サービス開始日 : 2024年11月1日(金)
- ご利用方法 : Hami Pay アプリで Ponta 会員証を表示し、日本国内の対象 Ponta 提携社
で提示
- 対象 Ponta 提携社 : HMV、GiGO、コジマ、サニーマート、ソフマップ、トモズ、ビックカメラ、ヒマラヤ、ライフ、ルートインホテルズ、ローソン、ローソンストア
100 (五十音順)
- ポイント加算 : 対象 Ponta 提携社の加算率に準じる
- ポイント利用 : 1Ponta ポイント (1円相当) 単位で利用可能
- ポイント交換 : 2Hami ポイントにつき 5Ponta ポイントに交換
4Ponta ポイントにつき 1Hami ポイントに交換

以上